

ふりかえり：平成 13 年度（2001 年度） 豊中市における多文化サービスのあり方について

平成 12 年（2000 年）5 月に「豊中市国際化施策推進基本方針」が策定。

この基本方針に述べられた課題として、以下の 6 点が挙げられている。どの項目も図書館が関与・寄与できる課題であるとし、館ごとに実態に即したサービスを模索しこれまで実施してきた。

- ① 外国人も地域で生活をしている市民であるという視点による人権擁護
- ② 外国人市民が社会参加できる仕組みづくり
- ③ 異文化理解に関する学習を基調とした多文化共生のための教育の推進
- ④ 外国人市民の生活支援
- ⑤ 多言語情報提供や相談機能の充実
- ⑥ とよなか国際交流協会、市民団体などとの連携、ネットワーク化

事業内容・成果（抜粋）

事業名など	事業効果の概要
世界のこどもの本の部屋 多文化コーナー ① ③ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ○世界のこどもの本の部屋を含め外国語資料のデータ化をおこない、邦題での検索が可能となり、職員からの資料提供がスムーズとなった。 ○平成 23 年（2011 年）多文化コーナー常設（庄内）。複合施設内庄内公民館で開催の「にほんご教室」へ資料提供することができた。
多言語版利用案内など ① ② ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ○利用案内を多言語化、指差しシートを作成した。 <u>英語</u>、<u>中国語</u>、<u>韓国・朝鮮語</u>、<u>フィリピン語</u>、<u>ネパール語</u>、<u>インドネシア語</u>、<u>タイ語</u>、<u>スペイン語</u>、<u>ポルトガル語</u>、<u>ベトナム語</u> ○母語にふれ図書館を身近に感じていただけることになり、職員の接遇の負担感を軽減することができた。 ○図書館 Web ページの多言語対応が可能となった（上記下線言語）。 ○検索なび「国際交流」の作成・更新をおこなっている。
おやこでにほんご（とよなか国際交流協会） ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人市民も日本人ボランティアも親子で参加する居場所をつくる事業。とよなか国際交流協会との共催で多様な子育て観との出会いの場になっており平成 14 年（2002 年）庄内図書館から開始、現在 3 館で実施。
外国人親子に向けた高校進学相談会（しようない REK／市民協働事業） ① ② ④ ⑤ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 26 年度（2014 年度）より開始。進学相談に加えて中学校の進路保障担当の教諭と府立高校の教諭からの情報提供 →大阪府による進路ガイダンス開催が恒常的実施（終了） ※しようない REK は平成 24 年（2012 年）4 月から始まったごみの新分別について、その仕組みを解説した多言語版ビデオの作成に協力。

統計数値

世界の子どもの本の部屋	スタート時:30言語 6,448冊→令和5年度 約55言語 9,082冊
多文化コーナー	蔵書数:平成19年度 875冊→令和5年度 2040冊
おやこでにほんご	平成12年度(2002年度) 1回 11人(1館) 平成19年度(2007年度) 70回 593人(2館) 令和4年度(2022年度) 95回 935人(3館)

これまでの成果／今後の改善策・方向性

実施事業(サービス)について 十分に成果が認められた点	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の子どもの本の部屋にある絵本に限らず、多文化コーナーを常設。地域の実態にあわせて選書をおこない、蔵書構成の幅をひろげることができた。 ○絵本を中心に外国にルーツをもつ児童生徒に対し、学校図書館を通じて資料提供をおこない、当市の公共図書館と学校図書館の連携を活かした支援ができた。 ○「おやこでにほんご」をはじめ日本人市民との連携・交流の場の提供。誰もが気軽に立ち寄れる場として、図書館への理解が広がった。
実施事業(サービス)について 成果が不十分である点	<ul style="list-style-type: none"> ○来館することを前提としたサービス提供が中心であり、コロナ禍で活動制限のある時期には、生活に必要な情報など情報発信ができなかった。 ○多言語資料を活用した日本人市民への多文化理解に関する取組み、情報発信が不十分であった。
今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <u>○図書館本来の情報アクセスへの保障の観点:情報提供/広報啓発</u> 図書に限らない多言語資料の継続的な収集 他団体と連携した情報発信(SNSの活用) <u>○支援から連携した取組みを展開</u> 外国人市民が行いたいことを日本人市民とともに参加できる仕組み 日本人市民の多文化理解への取組み(関係機関連携/社会教育)